

# カレッジ通信

編集・発行

東京建築カレッジ

授業見学  
大歓迎!

TEL 03  
(5950)  
1771

## 現場の経験、気づきを2学年合同で交流 2023年度 第1回OJT報告会



約50人を前に自分の仕事内容、学んだことを話します。先生方からの質問にも答えます。写真は1年生 大田瞬介さん(セダー建設)

東京建築カレッジは年3回、授業の中で「OJT(現場実習)報告会」を行っています。現場で学んだこと、失敗したこと、これから挑戦したいことを報告しあう場です。

今年度の第一回OJT報告会は7月29日(土)午後、池袋校舎で行われ、1年生(28期生)6人、2年生(27期生)4人が全体で、自分の職場

と仕事の概要、経験したこと、学んだことを報告しました。「先輩から注意を受けながら電動工具を初めて使った」「掃除が汚い現場は仕事も遅れがち、という話に納得できた」などの発言の一方、戸建て新築現場に移動式小型クレーンを設置して熱中症防止に取り組んでいる事例の紹介もありました。「近い場所にはないけど効き目は無い」とのことですが、労働環境を少しでも良くしようという会社

の意思を感じます。本音トークの分散会では、親方や先輩とのコミュニケーションに悩んでいる、という発言が少なくありませんでした。ある人は、指導役の親方から仕事に関係ないことでバカにされた経験を打ち明けてくれました。「弱い者同士、不安や憤りを共有し、共感しあう良い時間だった。基本的な人権にかかわる状況は変えなければ」と感想に書いた研修生もいました。

◎ 卒業生をはじめ関係者の皆さん、本校母体の東京土建が8月27日(日)に開催する「けんせつのごとフェスタ」にお友だちを誘って参加しましょう。第19期生のKさん(YouTuber「大工のエリザベス」)が、大工の仕事の実際とやりがいを語ります。片岡茂樹教務運営委員、測量授業の永井孝明講師も出演します。参加無料。午後1時から4時、東京・大久保の「けんせつプラザ東京」で。



### YouTuber/大工

高校卒業後、建築大工になる。東京建築カレッジ第19期生。2020年から、YouTube、TikTokなど各種SNSを開発。現場での仕事の技法やコツ、道具紹介や使い方など若手大工の等身大の日常を発信している。

大工のエリザベス



LINE公式



Instagram



TikTok



4班に分かれて分散会。2年生が進行役、記録、報告を務めます。



## 密度の濃い充実の2年間で建築カレッジで

来年4月入学生(第29期生)募集中!カレッジで学べる就職先も紹介

8月6日(日)、10月15日(日)に江東実習場でオープンキャンパス開催。

くわしくは、東京建築カレッジ公式サイトをご覧ください。右のQRコードから。

お問い合わせ:03-5950-1771 東京土建技術研修センター内 建築カレッジ係



# ガウディとサグラダファミリア展※ 観に行きました!

「人は創造しない、ただ発見するのである」  
“But man does not create... He discovers.” -  
-Antoni Gaudi



週1日の休みは家事介護で何もできないので、放課後急いで美術館へ。閉館まで残り40分。インスピレーションを得るには十分な時間だった。

ガウディは表題の言葉を遺している。独創的造形で知られているが、その背景には既に在るモノに敬意を抱き、意欲的にエッセンスを抽出して制作しようとする1人の人間の哲学が垣間見える。会場ではその言葉に着目し、彼が影響を受けたであろう時代/教育環境、出会い等の展示、また歴史的技巧や自然物、幾何学等との対比もなされている。

大工の技巧も似ている。途方もない数の人々の、自然と共生していくための思考の積み重ね。各時代に求められた美の形を、文化、地理、宗教的な波を受け変容していき、今に至っている。それは全ての分野に言えることで、何事にも支配した気になったり、驕った態度を取ることはできない。その心持ちを忘れずに、人生を終えるまで既に在るものの深淵を探り、覗いていきたいと思う。

東京建築カレッジ 第28期生 1年生  
小堀 晴野

(※会期9月10日まで、東京国立近代美術館)



## 1年生の授業から

自分が製作した継手で強度実験。数値の競争も楽しみます。

「建築材料実験」は工業高校の建築科の多くで受ける授業。カレッジでも基礎科目として重視されています。様々な材料の特性を学習した後、圧縮、引っ張り実験で確認

## 建築材料実験

かめます。コンクリートは調査設計から学び、自分たちで製作します。実験で得た結果の正確な記録、

定型的な科学レポートを完成させることも求めます。コンクリートを作るために必要な材料(セメント・砂・砂利・水)以外のものを入れると、強度はどのよう

に変化するか、木の強度は継手の形や加工の精度で違いは出るか、などゲーム感覚で楽しみながら物性を確かめます。担当講師の高橋俊

## 2年生の授業から

東京建築カレッジには住宅設計の授業もあります。「大工など施工職の人にも一回は設計の仕事を経験させたい」と担当講師。世田谷区内の第一種低

層住居専用地域の約78坪の敷地を課題に自由設計させ、100分の1サイズと50分の1サイズの模型づくりで設計の善し悪しを検証させます。↓下写真。

## 約78坪の敷地に住宅自由設計



幸さん(大工、15期生)は言います。「レポートは用紙の汚れの有無、漢字が書けているか、から指導します。他人に見せる報告書ですから当然です」。

1年生の授業で、そこで暮らす人を考えさせ、生活スタイルを考慮した間取り作りから始めます。当然、自然環境や法規制の制限を受けまます。斜線制限のチェックも受けます。構造の検討も必須です。今年の2年生は8月3日の授業で自分の設計を模型を見せながらプレゼンテーションする予定です。

## 短信

事業主と先生  
合同研修会

東京建築カレッジは9月3日(日)午後、「けんせつプラザ東京」(東京土建本部会館)で、研修生派遣事業所と講師・指導員合同の研修会を行います。カレッジ生の育成・定着がテーマです。

社会保険労務士北村博昭さんを講師に、小規模工務店の働き方改革対応と社員が定着する会社づくりを学びます。カレッジを利用した人材育成の事例報告もあります。後半は事業所と先生方が本音で語り合う分散会を行います。参加対象は、研修生派遣事業所、カレッジ職業紹介所登録事業所、カレッジ講師・指導員ですが、テーマに関心のある東京土建(本校の母体)の関係者も参加できます(事前申込制)。